

# 言葉は武器と魔法

小牧市立岩崎中学校

「言葉は思ったことをそのまま口に出すのではなく、一度考えてから発言すること。」これは、私が小学生のころから母に言われている言葉です。なぜ、母がこの言葉を私に言ったかというと、母や兄弟と喧嘩した時に、私が感情にまかせて発言をしてしまい、気づかない間に相手を傷つけてしまっていたからだそうです。そして、「自分が思ったことを勢いのまま発言してはいけない。一度、自分の中でグッと押さえ込み、言ってもよいことなのか、相手が傷つくような言い方ではないか、自分も言われたときに嫌な気持ちにならないかを考えて、発言をするべきだ。」という意味が込められていると母に聞きました。私はよく、何も考えずに発言をしてしまい、後から「傷ついていないかな」「怒ってないかな」「嫌われてないかな」と発言した言葉に不安を抱き、後悔をしてしまうことや、実際に相手を傷つけてしまい、喧嘩をしてしまうことがあります。

また、言葉だけではなく、口調でも相手を傷つけてしまうこともあります。例えば、兄弟と話をしていて言い返す時、自分では悪気があるって言ったつもりでなくとも、兄弟からは「どうしてそういうことを言うの？」や「言い方がきついから、怒っているじゃん。」などと言われることがあります。しかし、私は強く言ったつもりではなく、怒っているわけでもないので、「怒ってないのにどうしてそういうことを言うの。」と言い返し、口喧嘩になってしまいます。そうすると、母に「言い方がきつすぎるからだよ。」と注意をされます。そういう時、相手が兄弟だったので、喧嘩で済んだけれど、もし相手が友達だったら、自分の発言のせいで相手を悲しませ、トラブルになっていたかもしれません。

さらに、言葉は人を幸せな気持ちにすることができます。例えば、困っている人を助けた時、「ありがとう。」と言われると私は嬉しくなり、笑顔になります。他にも、「大好き」や「大丈夫？」など、人の心を温めることができる魔法の言葉があると思います。その反面、人を簡単に傷つけることもできる武器にもなります。だからこそ、何かあってから後悔をしないよう、発言の仕方にも気をつけることは大切だと思いました。

他にも、今ではラインやインスタグラムなどのSNSを通して会話することができます。この場合は、直接話す時よりも、特に言葉に気をつけなくてはいけません。なぜなら、ボタン一つで相手に好きなことを自由に発言できるからです。しかも、相手が傷つくような内容を送った場合、消したとしてもその内容が証拠として相手に残るので、取り返しがつかないことになると考えています。だからと言って、SNSを使ってはいけないとは言えません。少しでもトラブルを防ぐために、相手がそれを読んだときに嫌な気持ちにならないか、傷つく内容ではないかをもう一度自分で読み、確認してから送るべきだと考えています。

最近では、こういったSNSでのトラブルがとても増えてきていると、去年、学校の授業で学びました。また、テレビでも誹謗中傷により、命を絶つ人のニュースを目にすることがよくあるので、家族などの周りの人や大切な友達を傷つけないために気をつけて、SNSを使っていこうと思いました。

言葉は扱い方がとても難しいです。だからこそ、勢いのまま発言するのではなく、考えてから発言をするべきだと改めて思いました。そして、今後も母の言葉を忘れずに、日ごろから、言葉遣いや発言の仕方に気をつけて過ごしていきたいです。「友達だからいいや」ではなく、「友達だからこそ」、棘のある言い方をしている人がいたら、優しく声をかけて、教えてあげたいと思います。そうすることで、悲しい思いをする人を少しでも減らすことができるのではないかと考えました。一度傷つけた心は、相手が許してくれたとしても、もう、最初の状態には戻りません。

私の周りだけではなく、優しい言葉で溢れるような世の中になりますように。